婦人と新社會

山田わか主筆

十一月號

◎人間は單なる機械ではない

◎ベーベル社會主義論の實現

はしがき

マッケー氏序文の一節

一、祝日

二、新法律

三、不滿なる人々

四、職業の選擇

◎佛門に入られた今東光氏に問ふ

[illegible]第三種郵便物認可
昭和五年十月二十三日印刷納本

昭和五年十一月一日發行　第百貳拾八號　毎月一回一日發行

東京[illegible]婦人と新社會社發行

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人間は單なる機械ではない

產兒制限の問題は、國家の存亡に關するやうな重大問題でありますから、これは、倫理、社會學、醫學、經濟學、及び、優生學の見地から考察し、そして、それ等の見地からの一致點を見出した時にのみ始めて實行に移すべきものであります。

否、それ等の凡ての見地からの承諾があつても、猶、まだ一ツ其處に殘されてゐる重要な問題があります。そして、それは人間的乃至個人的の考へです。つまり、倫理、社會學、醫學、經濟學及び優生學が承諾しても、個々人の精神的乃至美的觀念が其れを承諾しないかも知れません。

人間は單なる機械ではありません。人間にはたましいがあり、そのたましいの要求があります。それを無視して人間を科學的に取り扱はふとするのさへ人間冒瀆であるのに、現今避妊法は其の科學の承諾さへも得て居りません。

科學的である上にも猶科學的にしても猶人間自身の問題は解決に到達し得ぬ程微妙なものであるのに、其の科學をも無視して全く非科學的に產兒制限問題を取り扱つてゐることは亂暴も亦甚しいと云はなければなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ベーベル社會主義論の實現

はしがき

獨逸帝國時代に於ける自由黨の領袖ユージン・リヒテル氏は「ベーベル社會主義論の實現」を書きました。つまり、社會主義が實行されたらと云ふ想像を描き出したものであります。

社會主義が實行されたら世の中がどんな風になるかを見るのも面白いと思ひますので、暫くの間續けて御紹介して見ようと計畫致しましたが、先づ、此處に、其の著作に寄せられたマッケー氏の序文を御紹介致します。

マッケー氏の序文の一節

リヒテル氏の說明振りは實に感服に價する。まだ見ぬ想像の世界をまことに眞實らしく描寫してゐる。そしてその氣分は決して滑稽に流れてゐない。が、もし、其の想像の世界に於て信じられない事柄があるとすれば、それは著者の不熟練に歸すべきではなく、社會主義者の理論が不適合なるためである。

もう一ツ讀者に注意して置きたいことがある。そして、それは、確實に此の地上に足を踏みしめてものを云ふ論者は、其の反對の空中の雲に取り卷かれてものを云ふ論者よりもいつも不利な立場にゐると云ふことである。

現實に即してものを云ふ論者は、現代は次代の父母であることを認めてゐる。彼等は現制度の缺點も、又、不平等をも認める。が、彼等が提供する最善な救濟法は明らかに徐々たるものであり不完全である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

これに反して社會主義者は彼等の信ずる理想社會に於て生じるであらう缺點に關しては全然おかまいなしである。

まだ經驗が無いのであるから、經驗に照して其の原則を具體化して證明しようとする機會がない。故に、まだなほ未來のふところにある處の組織を批評することは困難である。

社會主義者の未來の理想社會は全く黄金社會である。が、如何にして凡ての人類が其の黄金社會に入り得るか黄金社會的生活を營み得るか？

「余がもし王者であるならば」と正直なジャック・ケードは云ふ。「金と云ふものを廢する。如何なる者にも來り、そして、食はしめ飲ましむる。而して、余は彼等に一樣に服役を命ずる。彼等は兄弟の如くに相和し相一致して、しかして、余を彼等の君主として尊むだらう」と

近代の場合に於ては、ジャック・ケードの君主のような政治的主領は押し除けられてゐるが、併し、此の點は重要である。

なぜなら、如何なる紀律も規定もなく、又、背後に確實なるそして嚴密なる何かの力もないならば社會主義と云ふ機械も決して廻らない。

社會主義的國家の平等とか恩惠とか云ふ話を我々は聞きあきる程聞かされてゐる。

そして、リヒテルは其れを批評しようとして、假說的に社會主義の理想社會を描き出したのである。

リヒテルの社會主義的理想社會の天才的描寫は、もし人間の性質が此のまゝであり、そして、社會組織が社會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主義的になつたならば、どんなことになるかと云ふ問題を解決するに最も價値ある貢献である。もし、その理想社會が不合理に終るとすれば其れは我が著者リヒテルの過失ではなく、社會主義其のものゝ過失である。

一、祝日

國際勞働同盟の赤旗はベルリンの宮殿から或ひは民家の屋根の上から飜つて居る。我々の永久の友であるベーベルが今尚生存して居て、そして、この光景を見ることができたなら彼はどんなに喜んだことであらう。彼は常に有產階級に向つて、「汝等の最後の瞬間は近づけり」と叫んで居た。フリードリヒ・エンゲルスは一八九八年を社會主義の理想が最後の勝利を得る年であると定めて居た。併し彼の豫定通りに速かに實現はされなかつたが、その到來は長い後ではなかつた。

そして、今、我々の喜ぶべき主なるものは、大衆の正當なる權利に對する長い間の勞苦と戰ひとが遂に成功の冠を戴いたと云ふ事實である。古い朽ち果てた制體は、資本の權勢と勞働階級を掠奪する組織と共に微塵に打ち碎かれてしまつたのである。私は自分の子孫の爲にこの團體生活と博愛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主義の新治世の端緒に付いて簡單に述べて見やうと思ふ。

私も又この人類の新生に對して無關係ではなかつた。過去二三十年の間私は忠實なる製本屋としての仕事から、又は、家庭の繰合せ得る限りの餘裕から、時と金とを都合してはこの目的促進の爲に費やしたのであつた。私の心の修養と社會主義を信じた原因は私が社會主義文學に親しんだのと政治クラブに關係したことからであつた。妻も子供も全く私と同じ意見であつた。私共の愛すべきベーベルの婦人論は長い間妻ポーラの最高な福音であつた。

新社會組織の生れた日は丁度私共夫婦の銀婚式當日であつたので共れは一層喜ばしい日とされた倅のフランクは家族のもう一つの慶事としてアグネス・ミューレルと婚約した。二人は長い間の知り合ひであり、相愛の間であつた。で、この偉大なる紀念日に靈感されて、私共は高尙なる氣分をもつてこの新しい愛の絆を結び付けたのであつた。二人はやゝ若年ではあつたが、一人は植字工であり、一人は帽子裁縫師であるので相應に暮しては行けるものと期待されて居た。二人は職業上の規定が改正され、住宅の準備が調ひ次第結婚する考へであつた。

晩餐の後、ウンテルデンリンデン（ベルリンの繁榮地）を私共は散歩した。頭上に群がる星は限り

なき歡喜の色を見せ、あらゆる事物はこの偉大なる祝日の調和にその音調を合せて居た。警官は解散され、人々は自ら最も模範たるべき作法に於て秩序を守つて居た。

宮殿の庭園、宮殿前の廣場、又は、その周圍は人の群をもつて充たされて居た。之れは人々がこの目的に對して明かに一致し、確乎たる決意をもつて居ることを示したものである。

新政府は宮殿に陣取つた。社會黨の首領中から撰拔した人達に依て一時政權は握られた。市會の社會黨員も一時自治體を組織した。

新主權者達の姿が折々窓から見えたり又はバルコニーに表はれるなら人々の抑へ難き喜びは歡聲となり、帽子ハンカチーフの物狂しき波となり、或ひは勞働歌の合唱となるのであつた。

夜に入れば大イルミネーションは點され、昔の王様や元師の像は赤旗をもつて飾られ、色々に色採られたベンガルの光りの中に奇妙な光景を呈して居た。併しやがては之等の像の時代は歴史の數に入れられ、像そのものは過去に於ける社會主義的英勇のそれ等に依て取つて代られるのであらう。既に大學校前の二ツのハムボルトの像は取り除かれ、マルクスとフエルデイナンド・ラツセルのそれに依つて代へられ、ウンテルデンリンデンのフレデリツク大王の像はリーブクネヒトのそれと代

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

へることになつて居る。

其の夜、私共は二重の慶事に深更迄語り續けた。今迄は社會主義に付いて余り語らなかつた妻の父さへも其夜は席を共にし、そして、この新組織に同感して非常に樂しげであつた。

私共は間もなくこの三階建の質素な家を立ち退いて幾分これに勝れた家に移ることを希つて居た私共はこの住み慣れた古い家で靜かな生活もし、喜びもし苦勞もし悲しみもし眞面目に努力したことであつたが。

二、新法律

有産階級側の人々は國境を越えて遁れやうとして甚だしい混雜を呈して居ると云ふことである。併し彼等は何處へ行かうとするのであらう。英國とスキツツランドを除いては歐洲は悉く社會主義國である。米國船は彼等の要求には應じきれないだらう。米國の革命は直ちに鎭められ、社會主義の實現などは遠い將來のものとされてしまつたのであるから、一度その岸に達すれば彼等は安全なのである。そして、斯ふ云ふ掠奪者達は行かしめて少しも差支へない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我が革命が斯くも急に實現されたのは有難いことである、それが爲に彼等は何も持つて行くことはできない、國債も抵當權も株券も約束手形も紙幣も皆無効の宣言を受けて居る。有産階級の人達はこの廢物をもつて直ちに船室の用意が出來るであらうか。土地も家も交通機關も機械も道具も倉庫も又其他あらゆるものも新社會主義國家の爲に既に押收されて居る。

今迄社會黨の主要機關であつたオンワード紙はもとのインペリヤル・アドバタイザーの代りとなつて戸毎に無代で配達されて居る。印刷場は皆國有とされて居る、從つてオンワード以外の新聞は全て印刷されない。ベルリン以外の町に於てはそれ〴〵土地の事柄が報導された附錄付オンワードの地方版が發行される。新議員が選擧される迄一時公務は舊議會の社會黨員が司ることになつて居る、その黨員達は政府委員の形式に於て新時代の爲に必要なる數多の法律を造らねばならない。

一八九一年エルフユールト會議に於て決定された黨の政綱が大衆の根本的權利に關する梗概として發布された。資本、財產、鑛山、採石所、機械、交通機關その他凡ゆる私有物は以後國家の或ひは今云ふ公共團體の總財產となると云ふことを宣言したのである。もう一つの法令に依て全ての人は働く義務を負はされた。そして二十一才から六十五才迄の人は男女の區別なく同等の權利を享有

し得る。二十一才以下の國民は國費をもつて教育され、六十五才以上の國民は國費をもつて養はれる。個人經營の企業又は産業は凡て停止された。供給に關しては、新法令の發布を待つことにして、兎に角、各人は從來の位置に留まり國家を主として働くことゝなつた。各人は各自に屬して居た物品の目錄を造つて提供しなければならない。家具とか衣類とか紙幣のやうなものはどうも私財であると思はせるものであつたが、とにかく、殊に貨幣は全部引き渡さねばならない。そして新たに金券が發行されるのである。

新政府は聰明なる宰相を頭に頂いて目的の促進に全精力を用ゐて居る。第一に資本の權勢が復活せぬやうに細心の注意を拂はねばならない。軍隊は解散した。税金は徵集されない。政府は公衆の爲に要する費用を國營の商業で得る利益から出さうとして居る。醫者も法律家も國家が支へるのであるから彼等は何時たりとも無報酬で公衆の要求に應ぜねばならない。革命の日とその祝日は法律の定むる休日である。

我々の目前には全く新しい光榮ある時代が待つて居るのは明かである。

三、不滿なる人々

私共の將來の娘であるアグネスは非常に悲しんで居る。フランクも又それに劣らず失望して居るアグネスは彼女の持參金に付いて心配して居るのである。永い間彼女は一心不亂に貯蓄して居たのであつたが彼女はフランクと知り合つてから一層熱心にそれを續けたのであつた。彼女は食事するさへも忘れる程に働いた。友人達が美服に快樂に或ひは遊覽に費す金を彼女は貯金したのであつた。故に、彼女が婚約した時には既に二千マルク以上の額に上つて居た。フランクは之れを少なからざる誇りと滿足とをもつて婚約日に話したのであつた。若い二人はこの金を如何に有利に用ゐるかに付いて考へをめぐらし居た。

併し今は彼女の勤勉も節儉も全く空しくなりさうになつたからである。頻々と來る報告に依て不安になつたアグネスは預金を引き出さうと決心した。銀行の最寄は興奮した人々で一ぱいである。古い政體の下に働いて居た老若男女は苦心して積んだ金を詐欺にかけられたと悲しい叫びをあげて居る。役人達は凡ゆる價値あるものが沒收されると同時に銀行預金も無効になつたと云つたらし

いのである。

斯ふ云ふことが話されて居るのを聞いただけでアグネスは卒倒しさうになつた。併し、勇氣を起して銀行に行つた時にこの信じ難き報告は事實であることが證明された。彼女は歸へりがけに銀行債權者達が宰相に會見すべく宮城に向つて行く處であると云ふことを聞いて來た。之れを聞いたので私は直ちに出かけた。フランクも同道した。

宮城前には既に大衆が群がつて居た。ラツセル橋上（舊キング・ウイリアム橋）は宮城に向ふ人の流れで引きも切らない。それは貯金銀行問題が人々の心を深く攪亂したことを語つて居る。宮庭の入口は全部固く閉されて居る。前面の群衆は無理に這入らうとしてあらゆる努力をして見たが無益であつた。突然扉の銃眼から鐵砲玉が飛んで來た。私はどうしたことかこの銃眼から鐵砲玉が飛んで來た。私はどうしたことかこの銃眼を以前には見たことがなかつた。この危急な瞬間に於て若し宰相が其の場に現れて秩序を正さなかつたなら何事が突發したか分らない。

宰相は中央門のバルコニーに進み出て來た。そして、その明瞭に響き渡る音聲をもつて貯蓄銀行問題は即刻政府委員に依て再考されるであらうことを宣言した。彼は凡ての眞の愛國者に又は堅實

なる社會主義者に乞ふた、國民の代表者たるものゝ正義と知識とを充分に信じてもらいたいことを。宰相は沸き立つ萬歲の聲をもつて送られた。

丁度この時幾多の消防隊は四方から宮城さして疾驅して來た。召集すべき警官隊がない爲に當局者は狼狽して宮城が火事だと報じたのであつた。この勇ましい連中は大哄笑をもつて迎へられた。間もなく群衆は以前よりも上機嫌となりやゝ和らげられた氣分となつて分散した。この事件を政府がうまく處理して呉れればよいが。

四、職業の選擇

新勞働法の規定に依り男女共に二十一才から六十五才迄の者は三日以内に從事すべき職業を登錄すべしと云ふ大きな赤色の掲示が至る處の掲示板に出て居る。もとの警察署やその他の公共建物は皆この目的の爲に向けられて居る。女子供は色々の國家經營の工場へ這入ることに依つて、子供の世話とか食事の支度とか病人の看護とか洗濯とか云ふ家庭の仕事から逃れ得ると云ふ事實に大いに心を引かれて居る。子供や若年者は國家の保護所に於て養育され、公衆學校に於て敎育されるので

ある。日々の食事はその土地々々の國立食堂に於てとるのである。病人は國立病院へ送られ、洗濯は國家の中央洗濯所に於てなされる。勞働時間は男女共に商業に於ても又各省に於ても先づ八時間と定められた。

仕事を選擇するに付いてはその技倆證明書と今迄從事して居た仕事の種類をも明記して差し出さねばならないのである。牧師としての仕事は一時取り扱はれない。何故ならば一八九一年エルフユールト會議に於いて決議された國家の基礎となるべき法律に依ると國家の資本を宗教又は寺院の爲に用ゐることは許されて居ないからである。故に、この牧師としての仕事は國家が仕事と認めた或る種類の仕事に八時間從事した後の時間を用ゐてするのならば差し支へないと云ふことになつた。

この情報が傳へられて以來の町の生活は丁度兵營町の召集日のやうであつた。同業者は同業者同志一團となつてそれ〴〵選擇した仕事のマークを身體に着けて或ひは歌ひ或ひは叫びつゝ町を行進して居る。婦人や小娘の群も澤山あつた。彼等は家庭の雜事を捨て、選んだ仕事から豫期する喜びで最も愉快さうに見える。多くの人達は今迄とは全く反對の仕事を選んだ。大抵の人は今迄して居つた仕事であつてもなくても同じであるやうに考へて居るらしいがそれは間違つてゐると私は思

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふ。

少なくとも私の家族の者は仕事を變へやうとはしなかつた。私共は私共の好きな今迄の仕事を忠實に續けやうとして居る。それ故悴のフランクも行末は娘となるアグネスも私自身も皆その主意に從つて登記したのであつた。私の妻は兒童養育院の附添人として登記した。と云ふのは彼女は今は引き渡さねばならない四才になる末子アンニーの世話をしたいと云ふ希望からである。

こゝで一寸附け加へて置くが、宰相は宮城前の騷動以後警官隊を再集することの必要を感じた。そして、四千の强壯なる者をあつめて、一部は兵器庫に、一部は最寄の兵營に配置した。不愉快な記憶をよび超さない爲に以前の青の制服は癈され茶のそれと代へられた。ヘルメットの代りに巡査は赤い羽根の付いた大きなレムブランデットの帽子を被るのであつた。

佛門に入られた今東光氏に問ふ

大衆作家として目されてゐた今東光氏が僧房に入られたと云ふことはかれて聞いてゐましたが、いよいよ此の十八日に東京淺草寺貫主亮順僧正によつて得度式を行ひ今月末に京都大原三千院門跡堀惠慶師の下に僧侶生活に入ることゝなつたと「東京日々」は報じてゐます。

□

今氏の佛門入りを耳にした最初から私は同氏の何か眞面目な動機を想像してゐました。

世間には、こく「精神上の成金」と云ふものがある。昨日までも今日までも金を積み上げることに沒頭して他の一切をかへりみるいとまを持たなかつたり、又は肉慾に耽溺することが人生最終の目的でゞもあるかのやうに無自覺な生活を送つてゐながら、突然に、宗教界に身を投じてしまふやうな人間が時々ある。

つまり、ものには總て一通りの過程と云ふものがあり、その過程を經てこそ確實であるけれども、それなくしての一時の氣まぐれ、又は、時の風の吹きまはしで成つたことには確實性がない。

時の風の吹きまはしで儲けた金は失ひ易いと同じやうに、何かのはずみで、又は、氣まぐれでなつた宗教家は、又、何かのはずみで俗界に歸つてしまふものであると私は考へてゐるものでありますが併し、今此の場合は、決して、そんなものでは無いだらうと私は想像してゐたのです。

□

で、婦人公論十一月號所載今氏の「僧房より愛妻へ」を早速讀んで見ました。

氏はいよ／＼此處まで到達した氏の心境に就て諄々述べて居られます。

今氏夫婦は、氏の言葉を借りて云へば、あらゆる社會の指彈を受け、近親の反撃に遭ひ、非難と嘲笑と罵

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

個のうちに汚い安下宿の一室に夫婦生活を營み始めました。

漸く新進作家として其の一歩を文壇に印する間もなく氏の先輩である菊池寛氏と衝突して此處とは縁を切りました。

そして、文壇をあちらこちらと放浪した後に、いよいよ文壇の集團生活を否定してしまひました。

やがて、氏は階級鬪爭の陣營に身を置くやうになりました。同時に、プロレタリア文學者の中へ籍を置きました。が、此處での氏の體驗は

「其處で見出した「同志」とは他愛もないマルクス・ボーイ共の亂倫と公式主義と政法線の革命ごつこ」でありました。

で「悉くの友人と離れ、すべての同志と別れ、僕は今、何等の拘束を受くることなき自由な人間となつてはじめて本來空の平靜を取り戻したやうだ」と云つて居られます。

□

宗教に關して「宗教に就て書かれた書物……その集積の總和から得るところのものは何であつたか、それは宗教の學的說明を豐かにするといふ結論を得て、却て宗教の權威を增減する何ものでもないことを知らなければならない。

畢竟するに、宗教は信仰の對象であつて、悟性を基礎として證明せらるべき知識の對象でないことは云ふまでもない」と今氏が云はれることに私は同感です。

又「今日の寺院と農村との緊密なつながりを見たゞけで僕がさうした教團組織體の一細胞となる意義が十分にはつきりするだらう」と云はれる氣持ちも私には分りますが、併しながら、何故に、かくの如き眞實な夫婦が懇しい思ひを胸に燃やしながら生活を別にしなければならないのか？

何故に宗教と家庭生活とは兩立出來ないと今氏は考へて居られるのか？　此の點を私は今氏に問ひたいと思ひます。

□

文明は家庭から生れて家庭へ歸るものであると云ふことを私はかれて云つて置きました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つまり、今氏夫婦のやうな眞實な夫婦愛から成る家庭があらゆる進歩の温床であつた、と私は信じてゐるのです、そして、かくの如き家庭から發射される、淸い光りが外の無數の家庭へ淸い光りを送り、其の向上に資すと云ふやうに私は信じてゐるのです。

□

又、個人的に考へても個人の進化發展のためには、夫婦愛乃至家庭生活は車の軸のやうなものであるのに我が今東光氏が其の軸を危險の淵に陷れて、そして、車の圓滑な廻轉を期して居られる處に私は限りなき不滿と不安を感じてゐます。

□

もし、文子夫人が今氏の宗敎的精進を妨げる、今氏に煩ひをかける、今氏の厄介者であると云ふ風ならば勿論今氏は夫人と離れ家庭を捨て、僧房入りをする必要がありませう。けれども、二人の間柄はそんなものではない樣です。

今氏は「愛する妻よ」と呼びかけては云つてゐます。「僕は君の運命と幸福とを破壞してまで「遁世」を欲し

たのではなかつた、僕一個人の完成のために、但に、幸福を希つて止まない君を捨離する筈がないではないか。もし、君を捨離するならば僕が限りない榮光に滿ちた成道を得るといふ佛法ならば、僕は恐らくさうした佛法には歸依しないであらう。僕が成道を得る如く君も亦成道を得ることが出來るのが佛法でなければならない。かく觀ずることが出來るのは吾等の喜びである」と云はれるのは眞實な言葉――尤も今氏の口から不眞實な言葉が出る筈はありませんが――ではありますが、併し、どんなに眞實な氣持を持つてゐても夫婦が生活を別にしてゐると、思はぬスキが――私はこれを思想的に考へてゐるのです、夫婦の間へ這ひ込まないとも限らないと云ふ老婆心がしきりに私の頭の中に動いてゐます。

□

今氏は、我々夫婦の間柄はそんな薄弱なものではないと云はれるかも知れない。併し、さう考へられるのは自惚れである。そして、その自惚れのゆたんのスキに大敵が潜むものであることを私は恐れてゐるのです

今氏が宗教的にどんなに成功されても、もし、宗教的に精進するために文子夫人の生活をかへりみなかつた。そのために、夫婦愛にヒヾが入つた、家庭破壊に到達したと云ふやうなことになつたのでは、個人的にも社會的にも得るところよりも失ふところが大きいと私は觀じるのです。

□

肉慾が精神を虐待するのが一般です。

良心が「それは惡い！」と絶叫してゐるにも拘らず然ゆる慾望は良心の其の聲を聽かない。「無理が通れば道理がひツこむ」で、良心はだまつてしまふ。これが人の世の絶えざる罪惡を醸してゐるのでありますが、併しながら、正當な慾望を精神の力が虐待するのも亦一種の罪惡であると私は見てゐます。なぜなら、それが心身の伸び〳〵した成長を妨げるものでありますから。

□

精神的の慾望は總て清くて正しい。それに反して、肉體的の慾望は總て汚れてゐて、不正であると云ふ風に、古い宗教家のやうに今氏は考へてゐるのでせうか

エレンケーの云つた精神が清く正しいものであるならば、その清い正しい精神を宿してゐるところの肉體も亦清く正しいものであるに相違ないと云ふやうなことを今氏は考へて居ないのでせうか？

□

私の娘がまだ通學してゐる頃に双葉女學校の多くの尼さん達を見て「母さんあの人達は偉いの？」と聞きました。私はスグに「あの人達は偉い、普通の人間が持つてゐる慾望の凡てを拒否して、あゝしてすましてゐるのだから偉いと云へば偉いが、併し、あのまツ黑な着物と儀式と云ふ城壁をもつてしなければ此の世の誘惑から逃れられないと考へる時にはあの人達は弱い人間だと云はなければならないわ。」と答へました。

「そんなら、どんな人が偉いの？」と反問する娘に對して私は云ひました。

「誘惑に取り卷かれてゐながら、引き込まれない。そして、良心を少しも裏切らずに人間に與へられた凡ての慾望を正しく滿たして心身共に成長させて行かう

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とする人が一番偉いのだ。」と。

口

で、私は、今、今氏もやはり其の弱い人間に屬するのかと思ふとまことに殘念なのです。

今氏が、佛教は所謂東洋流の遁世、乃至、隱者生活を强ふるものでなく、非常に積極的な働きを僧侶階級に要求してゐることを見て居られる點を嬉しく思ふと同樣に人は殊に僧侶は慾望を節制しなければならないことを力說して居られる點にも同感ですが、これだけの自覺ある氏にして、どうして夫婦愛、家庭生活を完成させながら共れが出來ないのか？

法體となつて僧房に入らなければ宗教的精進が出來ないのかと考へて何としても惜しい氣がするのです。

口

宗教の價値を私は低く見ようとするものではない。併しそれ以上に高く私は夫婦愛を見てゐます。個人の幸福のため社會の堅實性のために。

口

いんだら文士の僧房入りであるならば、私共は双手をあげて喜びます。彼が僧房に居る間だけでも世の中に害毒は流しませんから。

けれども、美しい夫婦愛の持主「唯心論的な社會運動」を目ざして居られる潑溂とした心身を何故に形式なあのころもに包まれたか幾數の尼さんと同じように城壁を一般社會と自分との間に造られたかを怪しく思ふ。從つて、其處に我が今東光氏の現代人としての眞の目ざめを私に疑はしむる點が存するのであります。

本誌定價表（臨時）

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和五年十月廿三日印刷納本
昭和五年十一月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉

東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎

東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN